

2017 年度いきいき健診へ参加された皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 一般地域住民における口腔機能と脳容積の関連

研究の目的

超高齢社会である我が国において、健康寿命の延伸は重要な課題です。特に認知症はご本人に限らず、ご家族や日本全体の介護の問題に重要な疾患です。

認知症を研究するうえで脳予備能(脳内に病的な変化があっても認知症が発症せずに認知機能を保つ能力)は重要な因子の 1 つです。脳予備能として、特に脳容積(脳の大きさ)と認知症発症との関連が指摘されています。一方で、脳容積と口腔機能には関連が指摘されています。口腔機能の低下と脳容積の関連を調べることで、認知症と口腔機能の低下がどの様に関係しているかを調べることを目的としています。

研究実施期間： 実施許可日～2025 年 3 月 31 日

対象となる方： 2017 年にいきいき健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

以下の情報を研究責任者である田村好弘の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

AMED 日本医療研究開発機構(認知症研究開発事業)による「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」(全国 8 地域からなる地域高齢者 1 万人の大規模認知症コホート研究)の一環である、2017 年度いきいき健診(倫理委員会承認番号：2019-064-2)にご参加いただいた方の個人データのうち、以下に示すもの

個人調査票(Personal ID、性別、年齢)

健康調査票・共通(既往歴、飲酒、喫煙、学歴)

健康調査票・歯科アンケート(かかりつけ歯科医院の有無)

認知機能(MMSE,WMS-R をもちいて認知機能判定)

MRI 読影(脳容積、脳疾患)

歯科データ(歯数、歯周病、う蝕、舌圧、パタカ、アイヒナー分類)

具体的には舌圧とパタカの数値を用いて口腔機能低下をスコア化します。スコアに応じて口腔機能低下群と健常群に分けて脳容積に差があるか比較します。その他、関係しそうな因子(年齢、性別、BMI や既往歴)を考慮して追加で検討する予定です。

なお、本研究で利用する情報は、AMED 日本医療研究開発機構(認知症研究開発事業)

による「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」(全国8地域からなる地域高齢者1万人の大規模認知症コホート研究)の一環である、2017年度いきいき健診(倫理委員会承認番号:2019-064-2)で収集し、加工(氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与)され、いきいき健診データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 歯科口腔外科学講座 助教・田村 好弘 住所：〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5127 Email：tam4416@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス 研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205